

尼崎医療生協病院 医学生のHELPボランティア メンバー募集！！



ヘルプ
HELP

高齢者の入院によるせん妄、機能低下をボランティアが入ることに
より予防し、元気に家へ帰ってもらうためのプログラム

HELPボランティア活動紹介

他にも院内を車椅子
で散歩など



ベッドサイドでお話



紙芝居の読み聞かせ



クリスマス会

HELP担当医師から医学生のみなさんへ

**夏休み・春休みの中の活動でも
大歓迎です♪**

**まだ日本では西淀病院(大阪)と
尼崎医療生協病院のみの取組み
です。先日、日本老年医学会で
発表してきました。**

**成功させて日本でも活動が広がる
ように、みなさん力をかけて
ください。**

【海外でのHELPの実績】

参考文献
J Am Geriatr Soc 2000;48:1697

- 本部はハーバード大学。
- 70を超える医療機関で実施。
- 米国外では、オーストラリア、イギリス、オランダ、台湾など

効果：

- せん妄発症、睡眠薬使用の減少
- 機能低下の予防
- 患者満足度の向上
- コストの削減

治療には、医療行為だけでなく患者さんの精神面が影響しています。特にご高齢の方は医療行為だけでは元気になる方が多いです。現在ボランティアさんは34名。うち60代、70代が4分の3を占め、若い世代が少ない状況です。患者さんは若い人と話ができ、元気ができる方、同じ世代がいい方、様々です。HELPボランティアは、若い世代の方から患者さんと同じ世代の方まで幅広い年齢層の方が必要です。活動が治療に結びつくことで、医療・介護の質をあげることに、患者さんが「ここにおってよかった。」と思ってもらえる場所を提供したいと思っています。

ぜひ肩肘はらずに「入院してくる患者さんの応援団」という気持ちで来てください。ボランティアをすることによってどういう思いで1人の患者さんを支えていくか、地域の医療について考えるいい勉強にもなります。学生時代に、対等な立場で患者さんと話をすることは、「医師になるための勉強」という視点でも勉強になります。地域医療の現場をみることで得ることはかなり大きいと思います。ぜひ時間をみつけて来てください。

尼崎医療生協病院 内科
中田医師・高松医師



ヘルプ HELPボランティア 養成講座 ご案内

受講無料

～参加した学生の感想を紹介～

多くの医学生が受講している講座です。この講座を受講して、私たちと一緒にボランティアをはじめましょう！

医師一患者の関係構築に大切な患者さんとのコミュニケーションのと리카た、どうしたら患者さんの気分を害さずに楽しく会話ができるか学びたくて参加しました！
(近畿大学 3年生)

介護の必要な祖父母と同居しているため、認知症の知識や介護の方法などを知ることができるかなと思い、参加することにしました。実際にボランティアとして活動されているみなさんの声を聞くこともでき、有意義な時間になりました。
(神戸大学 2年生)



【HELPボランティアへのステップ】

①HELPボランティア養成講座受講→②HELPボランティア登録→③活動開始！

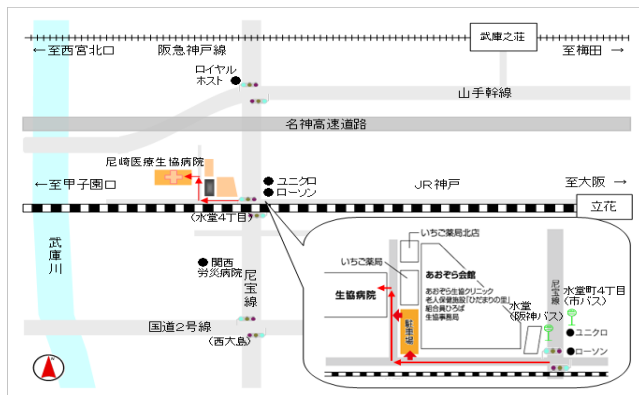
日時 2013年 **7月27日**(土)、**8月3日**(土)

いずれも **9:00~13:00** (全2回 合計8時間)

場所 尼崎医療生協病院 4階会議室

講座内容

医師・看護師・作業療法士が講師で高齢者の特徴や感染予防、HELPの活動内容など活動に必要なことを学びます。実習や活動中のボランティアとの交流もあります



<アクセス>

JR立花駅下車。駅北側線路沿いを西(神戸方面)へ徒歩約15分。

■申し込み・お問い合わせはこちらまで■

Email: igakusei@hyogo-min.com

兵庫民医連 医学生担当まで

件名に「HELP養成講座参加希望」と入力の上

氏名・大学名・学年・電話番号・住所入力をお願いします

* どちらか1日しか参加できない方もご相談下さい

申込は7月24日までお願いします